

# 日本種苗新聞

## 野菜輸出をも視野に

北九州で第158回品種見本市開く

### 地産地消で新鮮さを提供

青果育種研究会主催の第158回品種見本市は10月23日、北九州市小倉北区の北九州中央卸売市場で、生産者に呼び掛け「北九州のみならずへ『こんなもの作ってみよう』をテーマに開かれ、生産者、市場関係者、種苗メーカーなどが参加した。

米賀の北橋健治・北九州市市長は「北九州は工業都市から公害を乗り越え、北九州に変わった。環境と健康を市政の柱に地元野菜消費を奨励している」とあいさつした。

続いて「地域活性化に向けた北九州の青果物の生産および流通振興について」と題したセミナーが実施された。



作付けできそうな新しい野菜を探す参加者

小田社長は「東南アジアに近い九州の強みを生かし、農水産物の海外市場への輸出促進を図っている。今はイチゴやリンゴなど果実、果樹が中心だが、今後は現地の所得も上がり、サラダ野菜の需要が見込める」と生産者にアピールした。

品種見本市には種苗メーカーなど19社に加えて

地元北九州市農産振興会も出展した。同振興会は生産者、農協、北九州市の3者で作った組織で、生産量の少ない地元野菜9種類の安定供給を図るため、北九州市中央

#### 青果育種研

卸売市場に契約出荷の支援をしている。大葉シュンギクなど郷土の味を並べPRした。

種苗会社のイチ押し

▽大和農園 節間が短く、側枝の発生が旺盛で切り戻し栽培が可能なオクラ「大和アヒダ」▽みかど協和 肉厚で大葉、青臭さがなく甘みの強いエンドウ「ニムラサラダ」▽スナップ「マトキタ種苗」一番おいしい茎の部分

を伸ばしたカリフラワー「カリフローレ」▽カネコ種苗 冷やしたり、冷凍して焼き芋アイスにしてもおいしい「シルクス」▽中原採種場 病気に強く完全節成でスナック感覚のミニキュウリ「ドカナリ千成」▽ナント種苗 P.M.A.V. (P.M.A.V.) の抵抗性持ち、普通より作業軽減できる大型ピーマン「N.P.P.O.51」▽バイオニアエコサイエン スミニトマト「シリ

アンルージュ」のリンツプロックコー「プロックトを試食で提供▽雪印種苗 強靱質の肉質で貯蔵性に優れたアールスメロン「ミラノ夏」▽サカタのタネ イボなしで蒸散が少なく、店もちがいいキュウリ「フリーダム」▽アサヒ農園 栽培ラクらく、収穫ラクラクのどろろ「朝日工業 黄化葉」▽福井シード 皮残り少なく、糖度が10度前後でおいしさが極立

安定して後半の草勢維持がよく外観、品質ともに優れたアールスメロン「ミラノ夏」▽サカタのタネ イボなしで蒸散が少なく、店もちがいいキュウリ「フリーダム」▽アサヒ農園 栽培ラクらく、収穫ラクラクのどろろ「朝日工業 黄化葉」▽福井シード 皮残り少なく、糖度が10度前後でおいしさが極立

れを起さないように管理をし、草勢を見ながら追肥、灌水を早めに行う。初期の花数はやや少ない。低段では、果実がやや大きめとなる傾向がある。わき芽を除去し、草勢の維持を図ることが大事という。

種子の税抜き希望小売価格は、小袋入り15粒!! 900円▽100粒入り!! 3,720円、500粒入り!! 1万6,600円。

## 大人の芳醇トマト

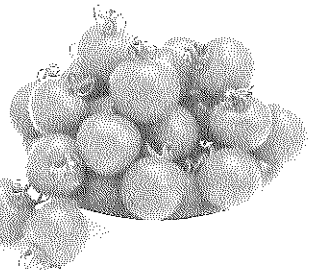
12月中に種子発売へ

渡辺農事

千葉県野田市柳沢、渡辺農事はミニトマト「ほれまる」の種子を12月中に売り出す計画で、準備を進めている。

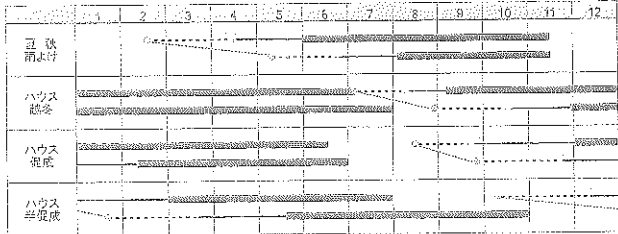
納得の品種誕生

「ほれまる」は、商標登録出願中のF1品種。研究陣は一度食べた忘れられない味「のミニトマト



「ほれまる」の味惚れする食味が売り

「ほれまる」の作型図



PRしている。

播種床は25℃

発芽適温は25〜30℃なので、播種床は25℃が基本。初期生育は強くないようにする。台木は「T-2」または「T-2a」型品種用を使用すること。定植の施肥設計はN・P・K!! 10・15・15kgとする。若苗、老成苗は用いない。

抵抗性を持っており、周年栽培ができる品種と一言勢を保つため、肥料切れ

生育適温は日間25〜30℃、夜間10〜15℃。高温期、低温期には

お問い合わせ先  
004(7124)  
0111